

全自動血液学分析装置 Alinity hq の基本性能評価に関する研究

1. 研究の対象

2022 年 6 月～2023 年 3 月に当院で血液検査を行うため採血された方の中から、ペルオキシダーゼ陰性大型細胞 (LUC : Large Unstained Cell) が 5.0% を超えた方や異常フラグが出現した方を対象とします。

2. 研究目的・方法

血液検体の血球数測定や白血球分類は様々な企業によって自動化されています。しかし、その測定等の違いから機種間差を伴うことが知られています。そこで今回我々は、新たに開発された Abbott 社製全自動血液学分析装置 Alinity hq の基本性能評価を実施し、当院で現在使用している SIEMENS 社製総合血液学検査装置 ADVIA2120i および Sysmex 社製多項目自動血球分析装置 XR-1000 との比較を行います。この比較によって、当院で使用する機械の特性把握や次期採用機種の選定に有益な情報を得ることができると考えています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、カルテ番号 等

試料：残余血液

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：富岡篤史

大阪国際がんセンター 臨床検査科 血液生化学検査室

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181